

クサビ足場 積算テンプレート（無料版）マニュアル

初心者向け・無料版でも使える完全ガイド+ PRO 版への自然なアップグレード案内

■1. 無料版テンプレートの目的

無料版は『とりあえず概算を知りたい』という初心者向けに作られています。

- ・ 今日すぐに概算が必要
- ・ 足場の積算を初めて行う
- ・ まずは“簡単な仕組み”で覚えたい

こうした人に最適です。

■2. 入力する場所（黄色セルだけ触ります）

無料版は黄色セル以外は全て自動計算です。

【入力項目】

- ・ 外周（m）
- ・ 高さ（m）
- ・ m²単価
- ・ 運搬費
- ・ 養生の有無（プルダウン）

黄色セルを埋めるだけで最終金額が自動で出ます。

■3. 無料版の使い方（3分で完了）

【STEP1】 外周・高さを入力

【STEP2】 m²単価を入力（例：900～1300 円）

【STEP3】 養生の有無と運搬費を入力

【STEP4】 右側の『最終金額』を見る

これだけで 1 現場の概算が完成します。

■4. 初心者がつまづきやすいポイント

・ 黄色以外に入力して数式を消してしまう
→ 黄色セル以外は触らないこと

・ 外周の測り方が不明
→ 家をぐるっと 1 周した長さの合計

・ 地域相場と単価がズレる
→ 住宅足場の相場は 900～1300 円/m²（地域差あり）。

■5. 無料版でできないこと（だから PRO 版が必要）

無料版だけでは実務レベルには届きません。

【無料版の制限】

- ・複数面（東西南北）の入力ができない
- ・係数（狭小地、運搬距離、存置期間など）が簡易的
- ・正式な A4 見積書が出せない
- ・安全チェック機能が無い
- ・複数現場管理ができない

無料版は“体験版”、PRO 版は“仕事で使える道具”です。

■6. PRO 版を使うメリット（わかりやすく）

【PRO 版の強み】

- ・面別入力に対応（精度が段違い）
- ・5 種類の係数で実務精度が出る
- ・A4 提出用の見積書を自動作成
- ・安衛則 540～546 条の安全チェック付き
- ・複数現場の管理が可能

元請に数字で説明できる“頼れる監督”になれます。

■7. 無料版 → PRO 版に進むべき人

- ・元請から正式な見積書提出が必要な現場がある
- ・複数現場を同時に扱う
- ・安全チェックと積算を一つの Excel でまとめたい
- ・数字の根拠を明確にしたい

こういう人は確実に PRO 版で作業が 3 倍速になります。

■8. 最後に：無料版を使う最短ルート

- ① 外周を入れる
 - ② 高さを入れる
 - ③ 単価を入れる
 - ④ 運搬費を入れる
- 『最終金額』を見る

まずは無料版で慣れてみてください。

慣れたら PRO 版にステップアップすると、現場での“数字の説明力”が大きく変わります。

■ 無料版と PRO 版の比較

機能	無料版	PRO 版
入力できる範囲	外周・高さ・㎡単価のみ	面別入力（東西南北）＋詳細係数 5 種
計算精度	概算レベル	実務レベル（元請説明可能）
見積書の形式	簡易金額のみ	A4 正式見積書を自動生成
安全チェック	なし	安衛則 540～546 対応チェック付き
複数現場管理	不可	複数現場管理シートあり
操作性	初心者向けに簡単	プロ向け・現場仕様の精密操作
おすすめ対象	とりあえず概算だけ知りたい人	現場監督・見積提出が必要な人

■ 初心者 FAQ（よくある質問 10 選）

Q1. 外周ってどこを測るの？

A. 建物をぐるっと 1 周した長さの合計です。出隅・入隅も合計してください。

Q2. 高さはどこからどこまで？

A. 地盤 or 基礎天端から、屋根先までの最大高さを入れてください。

Q3. 単価はいくらにすればいい？

A. 一般的には 900～1,300 円/㎡。地域や業者により変動あり。

Q4. 数字を入れても金額が変わりません。

A. 黄色セル以外に誤入力していないか確認してください。

Q5. 運搬費はどう決めるの？

A. 8,000～20,000 円で仮置き。距離と建物規模で調整してください。

Q6. どこが最終金額？

A. シート右側の『最終金額』セルです。もう何も操作不要です。

Q7. 養生あり・なしで何が変わる？

A. メッシュシートの有無により費用が加算されます（簡易係数）。

Q8. 無料版は見積書として提出できますか？

A. 簡易版なので提出には不向きです。PRO 版の A4 正式見積書を推奨します。

Q9. 無料版は複数現場に使える？

A. できません。1 現場用です。複数現場なら PRO 版へ。

Q10. 無料版から PRO 版へデータ移行できますか？

A. はい。外周・高さ・単価をそのまま PRO 版へ転記するだけで使えます。